



2004年4月16日

報道関係各位

信用取引の建玉上限金額を「200億円」に設定しました

日興ビーンズ証券株式会社（取締役社長：小笠原範之、本社：東京都中央区）は、大口資金にて信用取引をされる投資家の方々に対応するため、信用取引の建玉合計金額の上限を、「200億円」に設定することといたしましたので、お知らせします。

これまで当社では、信用の建玉制限について、「1銘柄3億円」とし、建玉合計金額については制限金額を提示しておりませんでした。

しかし、大口信用顧客からの1銘柄3億円上限撤廃に対するご要望を数多くいただいていたこと、信用取引ビジネスを開始して2年が経過し、信用顧客の取引特性に関するデータが蓄積されたこと、さらに当社ファンディング能力やリスク管理体制が十分に整備されたことを背景に、1銘柄毎の上限を撤廃し、建玉合計金額上限を具体的に200億円と設定いたしました。

当社では、本年3月より、少額での取引を好まれるの方々にも当社をより身近にご利用いただくため、「口座維持手数料」を撤廃いたしました。

また4月からは、短期的株式売買をされるの方々へのサービス拡充として「日計り取引の片道手数料の無料化」や「株式発注機能の強化」などを実施。

さらに、いわゆるサラリーマン投資家層など、日中の株価動向を頻繁にご覧になれないの方々へのサービス拡充として「逆指値」および「ツイン指値」を導入いたしました。

当社としては、アクティブな大口投資から少額資金にての長期投資まで、さまざまな投資スタイル毎に対応したサービスを一層充実させ、幅広いお客さまに喜ばれるオンライン証券会社を目指してまいりたいと考えます。

今回の信用取引に関するサービス拡充とともに、大口資金にてお取引されるお客さまへのサービス拡充策として、今後「マイコンシェルジュ制度」の導入などを検討して行きたいと考えます。